

ちとせ 市議会だより

No.199

「名水ふれあい公園なので、お水とふれあってください。」

明るい表情のこのヒヨドリも、名水を飲んだようですね。

たくさんの生き物と色彩で賑やかなこの場所は、

千歳市 名水ふれあい公園です。

【撮影者】吉野 さん

【撮影日】昨年5月4日

令和5年 第1回(3月)定例会

目次

- 定例会のあらまし、各委員会の開催状況 … 2～4 ページ
- 一般質問 …………… 5～10 ページ
- 行政視察報告など …………… 10～11 ページ
- 予算特別委員会質疑 …………… 12～15 ページ
- 議決結果 …………… 15 ページ
- 議会事務局からのお知らせ等 …………… 16 ページ

定

例会のあらまし

●令和5年度当初予算を可決

令和5年第1回定例会は、3月1日から3月27日までの27日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和5年度各会計当初予算、令和4年度各会計補正予算、条例の制定など、報告12件、議案28件、陳情2件、意見案2件が提出されました。

このうち、令和5年度各会計当初予算等12件については、議長を除く21人の委員で構成する予算特別委員会を設置し、補正予算にかかわる議案7件については、13人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置して、それぞれ審査を付託しました。また、即決を必要とする議案以外については、関係する常任委員会に審査を付託しました。

その結果、各議案等については、すべて原案のとおり可決・同意しました。陳情2件については、1件を採択し、1件を不採択としました。

今定例会の主な議案の内容は、次のとおりです。

令和5年度予算

一般会計、6特別会計および3企業会計の総額を
811億8千598万6千円とする

令和5年度予算の主な施策
(第7期総合計画に掲げた
まちづくりの基本目標順)

1 あたたかさとながりを
心で感じられるまち

・祝梅在宅福祉センター空調
設備整備事業費
1千42万8千円

・出産・子育て応援事業費
4千26万2千円

2 豊かな自然を育み快適で
住みよいまち

・脱炭素化推進事業費
621万2千円

令和5年度各会計予算

(単位：千円)

会計名	令和5年度	令和4年度	増減	増減率(%)
一般会計	46,943,414	46,964,401	△20,987	0.0
特別会計	15,412,816	15,313,547	99,269	0.6
国民健康保険	7,949,680	7,946,718	2,962	0.0
土地取得事業	380	380	0	0.0
公設地方卸売市場事業	64,005	112,414	△48,409	△43.1
霊園事業	25,026	26,974	△1,948	△7.2
介護保険	6,085,759	5,963,044	122,715	2.1
後期高齢者医療	1,287,966	1,264,017	23,949	1.9
公営企業会計	18,829,756	17,587,418	1,242,338	7.1
水道事業会計	3,675,543	3,620,263	55,280	1.5
下水道事業会計	6,633,055	5,870,807	762,248	13.0
病院事業会計	8,521,158	8,096,348	424,810	5.2
合計	81,185,986	79,865,366	1,320,620	1.7

3 災害や危険から暮らしを
守るまち

・道央廃棄物処理組合焼却施設建設事業費
2億8千966万2千円

・札幌圏共同消防通信指令システム更新整備事業費
9千464万4千円

・重要給水施設耐震化事業費
500万円

4 充実した学びと豊かな
文化・スポーツのまち

・全国高等学校総合体育大会
開催事業費
577万9千円

・共用林野整備事業費
57万5千円

5 地の利と資源を生かした
産業のまち

・立地企業振興事業費
2億3千749万4千円

・中小企業対策支援事業費
5億8千89万3千円

6 暮らしやすく便利な都市
基盤があるまち

・除雪車両等購入事業費
5千508万5千円

・千歳駅前広場再整備事業費
2億3千852万2千円

7 多彩な市民とオール千歳
で挑戦するまち

・北海道知事及び北海道議会
議員選挙執行経費
3千435万7千円

・千歳市長選挙及び千歳市議
会議員補欠選挙執行経費
4千264万5千円

令和4年度補正予算

◆一般会計補正予算(第7回)

歳入歳出予算の総額に
28億1千14万2千円
を追加

主な補正予算の内容
・心のふるさと千歳基金積立金

17億7千92万6千円

・自立支援給付事業費
1億225万3千円

・ちとせ市民応援商品券
2023発行事業費
5億4千696万7千円

◆公設地方卸売市場事業特
別会計補正予算(第2回)

令和4年度債務負担行為を
2千409万2千円を減額

◆霊園事業特別会計補正予
算(第1回)

歳入歳出予算の総額から
275万円を減額

◆介護保険特別会計補正予
算(第2回)

歳入歳出予算の総額から
3億4千255万5千円
を減額

◆病院事業会計補正予算(第
1回)

病院事業費用を
2億7千478万7千円
を減額

令和5年度補正予算

◆一般会計補正予算(第1回)

歳入歳出予算の総額に
1億3千935万3千円
を追加

・千歳美々ワールド整備事業費
1億3千935万3千円

主な条例

◆千歳市子ども医療費助成条
例の一部を改正する条例
医療費の助成範囲を拡大す
るために制定。

◆千歳市特定教育・保育施設
及び特定地域型保育事業の運
営に関する基準を定める条例
の一部を改正する条例
子ども・子育て支援法及び
学校教育法の一部改正に伴
い、引用条文に所要の改正を
行い、並びに児童福祉法の一
部改正に伴い、教育・保育給
付認定子どもに対する懲戒に
関する規定を削除するために
制定。

◆千歳市家庭的保育事業等の
設備及び運営に関する基準を
定める条例の一部を改正する
条例

安全計画の策定等及び自動
車内における利用乳幼児の所
在の確認に関する基準を定
め、並びに設備及び職員の方
針等に所要の改正を行い、並
びに児童福祉法の一部改正に
伴い、利用乳幼児に対する懲
戒に関する規定を削除するた
めに制定。

◆千歳市放課後児童健全育成
事業の設備及び運営に関する
基準を定める条例の一部を改
正する条例
安全計画及び業務継続計画
の策定等並びに自動車内にお
ける利用者の所在の確認に関
する基準を定め、並びに感染
症又は食中毒の予防等のため
の措置に所要の改正を行うた
めに制定。

◆千歳市国民健康保険条例の
一部を改正する条例
健康保険法施行令の一部改
正に伴い、出産育児一時金の
支給額に所要の改正を行い、
及び国民健康保険法施行令の
一部改正等に伴い、後期高齢
者支援金等賦課額の賦課限度
額、保険料の減額の算定方法
等に所要の改正を行うために
制定。

◆千歳市公営企業の設置等に
関する条例の一部を改正する

条例

水道事業の給水人口に所要
の改正を行うために制定。

人事

◆副議長の選出

3月1日の本会議におい
て、副議長の選挙を行った結
果、指名推選によって副議長
に宮原伸哉議員を選出しまし
た。



◆次の件に同意

◎教育委員会委員に
柴口 史子(ふしか)さん(新任)

意見書

第1回定例会において、議
員提案された意見書2件を原
案可決しました。

◆地域のグリーントランス
フォーメーション(GX)
の促進を求める意見書

◆知的障がい者・知的障がい
行政の国の対応拡充を求め
る意見書

陳情

◆陳情の審査結果について

◎件名

庁舎内における職員への政
党機関紙の勧誘・配達・集金
を自粛するよう求める陳情

・提出者

北海道を明るくする会

代表 女澤 信行
おんなさわ のぶゆき

・付託委員会

総務文教常任委員会

・審査結果 採択

◎件名

千歳市教育委員会及び千歳
市の小中学校内外におけるマ
スク着用等感染症対策及び感
染症対策における人権問題や
いじめ等に関する陳情書

・提出者

神戸 友里江
かんの ともえ

・付託委員会

総務文教常任委員会

・審査結果 不採択

その他

◆市道路線の変更

道路整備により、美々西通
の終点を変更。

変更前

○終点 美々758番地66地先

変更後

○終点 美々758番地57地先

各委員会の 活動状況

1月～3月に開かれた
各委員会の活動状況を
お知らせします。



**総務文教
常任委員会**

▼2月22日(水) 13時

令和4年火災・救急状況
を含む10件の所管事務調査
を報告済みとした。

▼3月2日(木) 13時

陳情2件を継続審査とし
た。

▼3月22日(水)

予算特別委員会終了後

北海道知事及び北海道議
会議員選挙に係る投票所入
場券発送の案内文書の誤記
載を含む4件の所管事務調
査を報告済みとし、陳情2
件を継続審査とした。

▼3月27日(月) 9時30分



**厚生環境
常任委員会**

▼2月24日(金) 10時

令和4年度千歳市一般会
計補正予算(案)の概要を
含む18件の所管事務調査を
報告済みとした。

▼3月2日(木) 13時

千歳市子ども・子育て会
議条例の一部を改正する条
例の制定についてなど、第
1回定例会付託議案4件を
原案可決とし、千歳市敬老
会の見直しなどを含む6件
の所管事務調査を報告済み
とした。

▼3月9日(木)

本会議終了後

子育て総合支援センター

配属公用車の車検切れ使用
の結果の所管事務調査を報
告済みとした。



**産業建設
常任委員会**

▼2月17日(金) 13時

千歳市サーモンパーク指
定管理者の引継ぎに係る現
況の所管事務調査を報告済
みとした。

▼2月22日(水) 13時

令和4年度千歳市一般会
計補正予算(案)の概要を
含む10件の所管事務調査を
報告済みとした。

▼3月2日(木) 13時

第1回定例会付託議案の
千歳市公営企業の設置等に
関する条例の一部を改正す
る条例の制定についてを原
案可決とし、「ちとせ未来
ビジョン」パブリックコメ
ントの結果などを含む9件
の所管事務調査を報告済み
とし、令和4年度行政視察
報告について決定した。

▼3月24日(金) 11時

令和5年度千歳市一般会
計補正予算(案)の概要を

含む2件の所管事務調査を
報告済みとした。



**議会運営
委員会**

▼2月7日(火) 13時

議会改革(市民の声を聴
く会、学習交流会など)お
よび千歳市議会の個人情報
の保護に関する条例の制定
について協議した。

▼2月28日(火) 13時

第1回定例会の議事運営
について決定した。

▼3月8日(水) 10時

第1回定例会2日目の議
事運営について決定し、意
見書の提出について協議し
た。

▼3月27日(月) 10時

第1回定例会最終日の議
事運営について決定し、意
見書の提出および議会改革
(市民の声を聴く会、学習
交流会、政務活動費など)
について協議した。

問 物価高騰を受け、道の暗渠工事の個人負担金は、令和元年度1ヘクタール当たり21万円程だったものが、令和4年度は76万円と3.54倍になっている。生産基盤の整備は農業をするうえで基本中の基本である。今後も持続

農業行政



自民党議員会
佐々木 雅宏 議員

答 市長 農地の基盤整備事業は、品質向上や生産量の増加に向けて重要な取り組みであり、国営事業などのほか、市町村や土地改良区、農業協同組合が実施する団体営事業を活用して、暗渠排水工事などを実施してきた。農業振興条例による生産基盤の整備は、国などの事業を活用後に、維持・補修などの小規模整備を想定した助成であり、補助対象経費は資材費

問 東千歳地域に産業廃棄物の最終処分施設の建設が計画されている。この地域は市内でも貴重な農村地帯であり、住民は廃棄物最終処分場が建設されることによる自然破壊、地下水、川の汚染、交通事故など多大な不安を抱える方の声が大

環境行政

や機械の借上料としており、昨今の生産資材の高騰を勘案し、今後の経済情勢や農業者の需要動向を踏まえ、検討していく。

答 市長 ①設置については、知事が許可することになっており、北海道では、条例に基づき、許可申請前に事業計画書の提出を求めている。計画書には、周辺地域の生活環境への配慮や施設から500m以内の居住者の同意のほか、市との協議を行うこととなっている。計画書の要件が整った

後に、許可申請書が提出となり、処分場の許可には、複数年の期間を要すると考えている。②東千歳地域で開催された説明会に、市の関係部署も参加したところであるが、この地域は、一帯において砂利の採取が行われ、法整備の遅れなどから、農地をはじめ諸問題の生じた地域でもあり、多くの方が処分場の設置に関心が高いものと認識したところである。引き続き、地域への影響や課題などを把握し、地域の意向をよく伺いながら、適切に対応していく。

市政 についての質問

今定例会では、3月9日、10日、13日、14日の4日間、各会派等からの一般質問が行われました。これらの質問の中から、主なものを掲載します。

- ☆自民党議員会
 - 佐々木雅宏 議員
 - 五十嵐桂一 議員
 - 山口 康弘 議員
 - 北原 偉男 議員
- ☆公明党議員団
 - 仲山 正人 議員
 - 今野 正恵 議員
- ☆日本共産党
 - 吉谷 徹 議員
- ☆日本維新の会・新党大地
 - 丸岡 伸幸 議員
- ☆無所属
 - 落野 章一 議員
 - 相沢 晶子 議員



← 一般質問の様子は、市HPからご覧いただけます。



運動部活動の地域移行について

問 昨年6月にスポーツ庁から、今後3か年で中学校の部活動を地域移行する方針が示された。①このことで教職員の仕事方改革・負担軽減は進むのか。②地域移行を進めることはイコール学校長の監督下から外れてしまう

が、誰が生徒の安全や教育的配慮に対して責任を持つのか。③保護者の不安などへの対応はどが行うのか何う。
答 教育長 ①昨年12月に示されたガイドラインでは、生徒が地域の指導者から指導を受けることができることや部活動指導員を導入することなども示されており、これらの活用により、部活動の指導時間が削減され、負担の軽減につながると考えている。②移行後は、運営団体においても、生徒の安全確保や教育的配慮に努めることとなる。③日常の相談について



市内経済活性化について

問 投資規模5兆円と言われるラピダス社の工場誘致について何う。①市に与える経済効果②工場建設等における地元優先発注③地価高騰について④科技大・PWCとの連携⑤科技大ハ半導体分野の学部及び優先就職枠

の新設⑥庁内に新たな対応部署の新設⑦本市の将来性について何う。また、⑧公設千歳卸売市場の老朽化に伴う移転新設について何う。
答 市長 ①本市だけではなく、北海道、ひいては国内全体への大きな経済効果があると認識している。②ラピダス社からは、地元の地域振興に協力したいと伺っている。③地価は、市場原理に基づき変動するものであり、本市がこの動向に関わることは望ましくないと考える。④PWCや科技大と新たな技術開発研究の推進や技術者養成

は、基本的には運営団体の役割となるが、市と運営団体などが連携を密にしながら行っていく。

子育てするなら千歳市について

問 山口市政後半の目玉政策「子育てするなら千歳市」について、平成26年度から積極的に取り組まれてきた。道内市町村ではいち早く幼保連携型認定こども園を多く開園し、ちとせ版ネウボラの導入、さらに市長自らイクボス宣言を行い、普及啓発に取り組まれた。現時

点で足掛け10年近く取り組んだ「子育てするなら千歳市」政策に対する市長の評価と感想について何う。

答 市長 就任当初から子育て環境の整備を重要課題と位置づけ、さまざまな施策を進めてきた。転入者が多い本市の特性から、子育てに不安や孤立を感じる方が多いことを踏まえ、「子育てコンシェルジュ」を配置し、子育てに関する相談や情報提供を行うなどのほか、妊娠・出産から子育て期までに応じ、保健師などが個別相談を行う「ちとせ版ネウ

ボラ」の実施など、各種支援を行ってきた。また、平成27年度から令和4年度までに保育定員を773人拡大し、働きながら子育てをしやすい環境を整備してきた。本市は「子育てするなら、千歳市」をキャッチフレーズに、安心して子どもを産み育てられる環境の整備に努めた結果、本市の令和3年度の合計特殊出生率は、全国、全道の平均を上回り、道内で最も若いまちとして人口が増加するなど、子育て施策について、成果をあげているものと考えている。

など、産学官連携が一層推進されることを期待している。
⑤今後、計画の詳細を伺いながら、ラピダス社との関わりがどのように持てるのか協議していく。⑥全庁的な支援体制を構築し、組織体制も強化する予定である。⑦本市が大きな発展を遂げることができると最大のチャンスと捉えている。⑧今後、移転新築の可能性を検討していくが、市場再整備にあたっては、空港周辺を含め、調査・検討していく。

空のまち千歳へ

問 次世代エアモビリティ(空飛ぶクルマ)について何う。①本市の考え方②飛行実証実験の誘致③エアモビリティ事業者の誘致④空のまちのブランド化⑤今後の展開⑥開港100年記念事業におけるエアモビリティの活用について何う。

答 市長 ①人流や物流の増加が期待でき、早い段階で社会実装を実現できるように取り組みたいと考えている。②北海道やJALなどと連携し、誘致を含め積極的に対応していく。③事業に関連する企業情報の収集を進めて

いく。④本市は「空のまち」として、新千歳空港とともに、今後も成長・発展していくために、空港の魅力価値向上につながる次世代エアモビリティの社会実装について積極的に取り組んでいく。⑤本市を実証の場とすることや本市での事業展開などについて働きかけ、可能性を引き出していくとともに、社会実装の早期実現に向けて取り組んでいく。⑥式典等において、次世代エアモビリティを活用したいと考えており、関係者の協力を仰ぎながら、実現に向けて、取り組んでいく。

問 市民生活が多様化し、行政のデジタル化の重要性が増している。デジタル化の恩恵は若い世代だけでなく、むしろ高齢者や障がいのある方にこそ大きい。効率化で生み出された時間や財源を使うことで、住民に寄り添った

DXの推進



公明党議員団
仲山 正人 議員

収集やシステムのデモンストレーションの実施などを行っている。国は導入を加速させるため、複数の方式による「書かない窓口」システムを構築し、自治体はそこから地域に適したシステムを選択する「窓口DX・サース」

答 市長 DXの取り組みとして全国的に導入する自治体が増加しており、本市においても、先行自治体から情報

問 地球温暖化の影響による、自然災害が世界中で発生し、この状況に危機感をもって対策に取り組む必要がある。市が推進する街路灯LED

脱炭素の推進
(街路灯LED化)

の提供を本年夏頃に予定している。「書かない窓口」は、高度・多様化する市民ニーズに対応し、市民の利便性向上につながるものと考えていることから、国が提供するサービスの詳しい内容や他の自治体の動向等を踏まえながら、検討していく。

答 市長 ①令和4年4月現在、約4800灯のうち、LED化が必要なものが約4200灯ある。脱炭素社会の実現に向け、照明のLED化や省エネルギー型の設備への更新を積極的に推進する必要があるので、令和

D化も、省エネや長寿命化によりCO2排出量の大きな削減が期待される。そこで、①今年度の事業の進捗状況について伺う。②2030年度の温室効果ガス46%削減に寄与する事業であり、事業終了年を早めることについて、所見を伺う。

4年度から13年度の10年間でLEDに更新する計画としている。今年度は約470灯を更新する見込みで、進捗率は約11%となる。②事業期間を10年間としたが、街路灯のLED化は、電気料金削減に加え、CO2の排出量の削減に寄与することから、事業期間の短縮に努め、2030年度の脱炭素化の目標達成に向け推進していく。千歳市の美しい自然環境を後世につなげられるよう、市民や事業者の皆さんと危機感を共有し、一体となって脱炭素社会を目指していく。

危機管理



自民党議員会
北原 偉男 議員

問 防災ハンドブックについて伺う。①指定避難所は震度6弱に耐えられる構造か。②夜間や休日など指定避難所の解錠は、どのように行うのか。③災害時のデジタル技術の活用について、千歳市の現状は。④川を渡らなければ

避難所へ行けない地域において、二次的な指定避難所等の設定はあるのか。

答 市長 ①すべての指定避難所は、耐震性が確保され、震度6強から7程度の地震にも耐えられる。②災害発生が休日・夜間の場合、施設管理者による解錠が困難な場合は、市庁舎等に別に保管している補助鍵を使用し、市職員が解錠する。③本市では、SNSによる情報発信、防災アプリの活用のほか、マイナンバーカードを用いた罹災証明書の電子申請などを取り入れているが、今後も、効

果的な被災者支援の方策について検討していく。④水害に対応した指定避難所は、一定の避難者を収容できることや車両などによる輸送ルートが確保できることなどを要件に浸水想定区域外にある施設を指定しており、浸水想定区域内の建物は孤立のおそれがあることから、二次的な避難所等の設定は考えていない。市が避難に関する発令を行った段階で、速やかに避難することが重要であり、ハンドブックにおいても警戒レベルに応じた行動について説明している。

観光行政

問 観光客の事故防止について伺う。①海外からの観光客に交通ルールなどを周知する機会はあるのか。②レンタカーを利用する観光客に、雪道を体験できる場を設定できないか。

答 市長 ①北海道や北海道警察などでは、多言語化した日本の交通ルールや冬道の事故防止に関するパンフレットを作成・配布するほか、本年1月20日には、北海道警察が新千歳空港と周辺

のレンタカー会社10社に赴き、冬道の注意喚起を行うなど、啓発活動を行っており、安全運転に向けた交通ルールやマナーを周知している。②一部のレンタカー会社では、インバウンドの回復を見定めながらスタッフの増員を図っており、コロナ禍前の運営体制に戻った際には、雪道運転の事前講習を再開する予定と聞いており、市としては、次に到来する冬に向けて、レンタカー事業者と情報交換しながら、関係機関や団体等と連携して、冬道の事故防止に努めていく。



公明党議員団
今野 正恵 議員

産後ケア事業

問 この事業は、助産院4か所で行っており、大変好評でリピーターとなる方も多いと聞く。しかし、利用はお子さんが生後4か月までで、7回までとなっているが、大変人気で1か月、2か月待ちとなる場合もあると聞く。7回

利用したくても利用できない方や、生後4か月を過ぎてしまいい利用できる機会をつくっていくため、受け皿を増やしたり、期間を延長する等の改善が必要だと考える。宿泊型を伴う産後ケアセンターの設置と生後4か月までの利用期間の延長を強く要望するが、所見を伺う。

答 市長 宿泊型を伴う産後ケアセンターを市が直接設置することについては、運営の実施主体や、施設整備・ケアを行うスタッフの確保などさまざまな課題があり、現時点

においては考えていないが、地域に根ざした継続的な産後ケアの充実に向け、助産院とともにどのような施策が考えられるか協議を進めながら、今後研究していく。また、利用期間については、訪問型において延長する方向で協議を進めているところであり、段階的に本事業の充実に図っていく。

保育施設の紙おむつの持ち帰り

問 保育所等で出た使用済み紙おむつの処分について、厚労省は保護者が持ち帰るので

はなく、保育所で処分することを推奨し、補助金でゴミ箱なども購入できると本年1月23日に全国の自治体に通知した。これまでも要望しているが、保育施設の使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止し、市で処分していただきたいと再度強く要望する。厚労省からの通知を受け、どのように取り組むのか伺う。

答 市長 国は、保育施設での使用済み紙おむつについて、施設が処分を行うことを推奨したが、保管についてはゴミ箱の購入等の費用として国が補助制度を設けているもの

の、課題である処分費用については、国の補助制度もなく、費用の負担者を明確にしていない。市は、基本的に使用済みおむつの処分など、施設の運営は園の判断により行うものと認識しているが、この度の国の方針を受け、市内の教育・保育施設が、園での使用済みおむつの処分を円滑かつ継続的に進めるよう、処分費用や保管方法の課題解消となる施設への支援の実施について、国の補助制度活用も含め検討していく。

その他の質問
・訪問介護に関する課題など



日本共産党
吉谷 徹 議員

道の駅サーモンパーク 千歳の指定管理のあり方

問 ①道の駅の問題で、報道を見た方の関心事は、今のテナントの今後かと思うが、現指定管理者とテナントの協議状況について伺う。②市は、テナントが別の場所へ移転や移設、同敷地内での別形態営業含め、市内に残り、営

業できるようにする手立てについて検討しなかったのか。また、現指定管理者に働きかけをしなかったのか伺う。③指定管理者の選定評価については、プレゼンも含め、非公開で進められ、議員には評価結果しか示されず、それが市民のために資することにつながるのか判断が難しいと感じる。施設を多く利用するのは市民であるにもかかわらず、示されないのは、改めて思うと疑問である。現状のブックボックスなプレゼンや評価手法を改め、市民数名をオブザーバー

として参加可能にし、応募団体業者も透明性のある提案となるよう、応募要件の変更等の転換が必要と考えるが、見解を伺う。
答 市長 ①現行の指定管理者は、2月13日に市の立会いの下、説明会を開催し、賃貸借期間満了の6か月前までにを行うべき通知を失念していたことについてテナントに謝罪し、その後、補償金を支払うことを前提に、各テナントと個別に協議を進めており、市も必要・要望に応じて同席し、移転先の希望などテナントの意向等の把握に努めている。

②現行の指定管理者では、市内の不動産会社等から移転先の情報を収集しているところであり、市においても、要望のあったテナント事業者の方には、収集して物件情報や移転先の紹介に努めている。また、サーモンパーク内など市有地等での営業については、市の行政財産等を公募等の手続きを経ないで、特定の事業者に貸し付けることは、公平・公正性の観点から今回の件では考えていない。③指定管理者選定委員会では、応募団体のノウハウ、技術情報、信用情報に関わる内容を取り扱っ

ていること、審議に制約が生じる可能性があることなどから、非公開開催としているものであり、市民の選定委員会への参加は考えていないが、指定管理者制度については、効率的かつ公正な運用のため、これまでも不断の見直しを行っているところであり、必要な見直しについて、今後も検証していく。

その他の質問
・フードバンク等の支援



日本維新の会・新党大地
丸岡 伸幸 議員

道の駅について

問 ①新たな指定管理者は全国で9か所の運営実績があり、ノウハウを生かした運営で好評を得ている点では評価するが、指定管理者が替わることにより、市民の雇用の場は確保されているのか伺う。
②新たな指定管理者は、地元

から雇用や調達を優先することであるが、具体的な人数や比率について把握しているのか伺う。③市は、新たな指定管理者との契約を白紙撤回し、市で管理運営する考えはないのか伺う。④道の駅は、地元密着の店や飲食店が入るからこそ価値があると思うが、直営店に変わることについて伺う。⑤今までのテナントに強制的に退去を求めていることに対し、市はすべて現指定管理者に任せるとはあまりにも無責任すぎるのではないか。もし、市役所がテナント側で、このような強制退去

を強いられただらどのように思うのか、市民の立場になっての考えについて伺うが、納得のいく答弁がなければ、市役所は市民のことを考えていないと理解する。

答 市長 ①新たな指定管理者は、テナント方式ではなく、直営で運営する提案がなされ、レストランなどの従業員は、地元市民を中心に雇用する旨の計画が示されており、引き続き、市民の雇用の場として役割を担っていくものと認識している。②具体的な雇用人数等は示されていないが、「市民や現在勤務してい

る方を優先する」こと、物品購入などの調達についても「地元の業者を中心に考えている」という提案がなされていることから、市民や地元を優先するものと認識している。③今回の事業は、現行の指定管理者が各テナントへの建物の賃貸借契約の期間満了通知を怠り、さらには各テナントへの説明が誤解を招く内容であったことに起因している。市は、昨年12月の第4回定例市議会で議決した指定管理者の指定を取り消す事由はなく、次年度からの管理・運営は、新たに選定した指定管



無所属
落野 章一 議員

ドローンの活用

問 千歳には飛行場があり、各種産業でドローンの活用は先駆的である。官民上げて取り組まなければならないと思うが、農林業と観光分野での活用事例について伺う。
答 市長 農業分野では、ド

ど、道央農業組合から導入を計画している組合員もいると伺っている。林業分野では、森林の樹木の種類や高さなどの確認や業務を安全・効率的に行う目的でドローンを導入している。観光分野では、支笏湖の豊かな自然環境の魅力を伝える動画制作にドローンを活用し、また、氷濤まつりでは、映像の制作過程やライブアップされた様子を特設サイトを設けて発信している。

問 上下水道について
次の5点について伺う。

①市内で断水・漏水・濁水の事故は何件起きていたか。②一昨年、青葉丘の鉄北通りの道路が陥没したが、その後、同様なことはないか。また、同種事故の防止についてどのような対策を行っているか。③石狩東部広域水道企業団から本市への受水量はどう変化しているか。毎年受水費はどう推移しているか。④本市の水源につき内別川、石東、石東の中の河川の割合はどうか。⑤千歳の農業用・工業用が立地予定の美々工業団地では地下水を使用するのか。

答 市長 ①直近5年は、漏水修理に伴う断水4件、断水を伴わない漏水2件、凍結に伴う断水1件、水道以外の工事による水道管の損傷に伴う断水2件、水道工事に伴い発生した濁水は3件あった。②令和3年8月に発生した以降、同様の事故は発生していない。対策としては、これまでも管内のカメラ調査などを実施してきており、今後も管渠の日常点検などによる監視のほか、道路パトロールなどにより、早期に発見できるように取り組んでいく。③同企業

団からは、漁川系から1日平均4千立方メートル、千歳川系から1日平均3千立方メートルを受水している。受水費は年間6億5千万円程度で推移している。④内別川からの取水が全体の約79%、漁川系から約12%、千歳川系から約9%となっている。⑤農業用は、千歳川や長都川、ケヌフチ川などの流水を活用し、工業用は上水道のほか、事業者が独自に井戸を設置し、地下水を活用している。産業振興部長 同社の計画に合わせて、円滑に進むよう、国や道と連携し、情報交換しながら進めていく。



民生委員について

問 民生委員は、年に6万円程度の費用弁償のみで活動している。民生委員は、全国的に充足率が低くなり、なり手不足が深刻化しているが、①それを解消するために報酬をつけることは考えていないか。②市長会でその提言

をするのはどうか。③委員候補者のための事前講習などの導入は考えていないか。

答 市長 ①民生委員は民生委員法に給与を支給しないものと定められており、報酬はないが、交通費等の実費分程度の交付金が支給されている。②国に対する交付金引き上げの要望については、平成29年春の北海道市長会要請事項として、「負担軽減と担い手不足の解消に向けて、活動費の増額による処遇改善と活動支援の充実を図るため増額すること」として現在まで継続して要請してい

る。③候補者の段階での事前講習の実施は難しいが、委嘱された後には、初任者研修などを開催している。

情報公開について

問 道の駅の件が問題になっている。大規模な企業進出にも、市民から多数の心配の声がある。また、給食へのゲノム編集作物や、コオロギの導入、そして自衛官募集のため子どもたちの個人情報提供に対しても同様である。情報公開は、民主主義の基本であり、市役所、市民

議会でも共有し、一体となって議論できるようにするためにも、市民からの意見・要望をホームページ等で公開すべきと考えるがどうか。

答 市長 担当部署に寄せられた市民の声と広報広聴課に寄せられた声を一元化し、公開することは、各担当部署において、その場で解決するものや、検討を要し、後日回答するものなど対応も異なる。これらの市に寄せられる声のほか、市長の手紙や市長へのポストなどに届いた意見などに関しては、公開を前提として受け付けているも

のではなく、その多くが極めて個人的な内容のもので占められていることから、個人の特定につながるほか、誹謗中傷に発展する恐れなどがあり、市に寄せられたすべての声を公開することはできない。しかしながら、市民生活に広く影響が生じている事項や、関心が高く、市として積極的に周知・啓発を図る必要があると判断した事項については、広報ちとせの特集記事などにより、情報提供を行ってきているほか、ホームページやSNSなどを通じ、適時、発信してきた。

行政視察報告

産業建設常任委員会が実施した行政視察の概要を掲載します。

◆「中心市街地活性化の取り組み」について
1月30日(月) 函館市

【概要】総合的な街づくりの一環として、空き店舗対策、駐車場対策、新たな飲食街などの集客施設の設置など、快適な憩いの場や買物空間を再生させることにより、中心市街地はもとより函館市全体の活性化につな

げることとして、事業運営を効率化的かつ円滑に発展させることを目的に、第3セクターによる街づくり機関としての「株式会社はこだてティールムオー」を設立しており、本市における中心市街地の在り方や、活性化に向けた今後の施策議論などの参考になるものと感じた。



議員学習会

令和5年3月24日(金)に(一社)構想日本の総括ディレクター、デジタル庁参与 伊藤伸氏を講師にお迎えし、【自分ごと化会議 あなたもあたるかもしれない】くじ引き民主主義「の時代へ」をテーマに議員学習会を開催しました。この学習会は、議会改革の取り組みの一つで、議員力の向上を目的としており、今回で10回目の開催となりました。当日は、全議員が参加し、「行政やまちづくりへの市民参加の新しい手法」などについて研さんを深めるとともに、そ

の後の質疑応答では、活発な意見交換が行われました。



議会運営委員会が実施した行政視察の概要を掲載します。

◆「オンライン委員会」について

1月19日(木) 登別市

【概要】登別市議会の辻議長より次の項目について説明を受けた。

- ① 登別市議会におけるオンライン委員会の内容について
 - ② かかる経費や資機材について
 - ③ 導入までの経緯や導入時の取り組みについて
 - ④ オンライン委員会室の視察及び現状の課題や取り組みについて
- また、登別市議会は早稲田大学マニフェスト研究所による議会改革度調査で、昨年度全国2位となるなど、議会改革が進んでおり、その取り組みについても説明を受けた。



登別市議会では、IT化への取り組みを早くから行ってきた経緯があり、コロナ禍や災害時への対応だけではなく、議会において多様性のある議員が活動できる手段の一つとして、オンライン委員会の実現に至ったということであった。オンライン委員会の開催は、リモート出席を認めることのメリットをしっかりと議会の中で議論がなされ、市民からも理解を得られなければならないと考える。システムの契約費用や端末機器については、高価なものが必要ではなく、本市においても十分に実現可能と考える。登別市議会においても、ルールや運用方法は完璧なものではなく、活用しながら整備を図っていくとのことであり、まずは始めることが重要であるとともに、登別市議会の熱意とスピード感を強く感じた。



産業建設常任委員会・議会運営委員会の行政視察の詳細についてはホームページをご覧ください。

第10回 市民の声を聴く会

令和5年2月13日(月)にまちライブラリー@ちとせで第10回市民の声を聴く会を開催しました。今回のテーマは「議会と選挙」とし、若年層の投票率が低いため、学生を中心に、直接話を聞き、議会や議員に興味を持ってもらうことを目的に実施しました。市内の2つの高校と3つの大学へ参加依頼を行い、当日は多くの学生のほか、主婦層など定員を上回る33名の参加がありました。第1部では、議会や選挙に対して理解を深めていただくため、プレゼンテーションを行い、第2部では、議員を含めた少人数でのグループトークを行い、活発な意見が飛び交う中、時間を若干延長するなど盛況に終えることができました。



【グループトークの主な意見】

- ・身近に感じられないから興味がわかないので、SNSをもっと活用するなど、若者に寄り添い、身近に感じてもらうことが大切で、学校などの教育の場で、身近な存在であることを伝える。
- ・セミナーなどで候補者と直接話ができたり、各種メディア媒体で知ることができれば、関心が高まり、投票行動につながる。
- ・候補者一人ひとりの政策を調べるのは大変で、理解するのに時間がかかる。
- 【参加者の主な感想】
- ・直接、議員のみなさんと話ができ、とても勉強になった。市議の方もフレンドリーで良かった。もっと開催してほしい。
- ・思っていたより、議員さんとの距離が近く、直接話を聞いていただいて良かった。
- ・もう少し回数を増やして、直接市民の声を聴くと、相互にとって利点がたくさんあると思った。とてもためになった。



第10回市民の声を聴く会の詳細については、ホームページをご覧ください。

予算特別委員会

質疑

令和5年度一般会計予算、6特別会計予算および3企業会計予算を審査するため、議長を除く21人の委員で構成する「予算特別委員会」を設置しました。

この特別委員会では、3月17日から3月23日の期間に付託案件に対する質疑を行いました。審査の結果は、第1回定例会の最終日に報告され、すべて可決しました。

ここでは、11人の委員が行った質疑の一部を掲載します。

質疑委員

☆公明党議員団

- ・ 仲山 正人 委員
 - ・ 平川美由紀 委員
- ☆ちとせの未来を創る会
- ・ 北山 敬太 委員

☆日本共産党

- ・ 吉谷 徹 委員

☆無所属

- ・ 落野 章一 委員

☆自民党議員会

- ・ 松倉 美加 委員
- ・ 飯田 盛好 委員
- ・ 五十嵐桂一 委員
- ・ 大山 益巳 委員
- ・ 岩満 順郎 委員
- ・ 渡部謙太郎 委員

質疑の様子は、市HPからご覧いただけます。



公明党議員団
仲山 正人
委員

公営企業会計（水道事業）
について

問 令和5年度に予定される水道事業の工事計画は、市民へ安心・安全な水の供給をするための重要な工事であると考える。しかしながら、現在はラピダス社の千歳市への立地が決定したことから、令和5年度に実施予定の計画について、見直さなければならぬ状態になっているのではないかと危惧しているが、水道局としては、どのような考えか伺う。

答 水道局長 来年度における水道工事実施の見直しについてであるが、現時点では、ラピダス社から、美々地区における具体的な計画が示されていない状況である。ラピダス社関連の水道工事を行う場合には、重要給水施設配水管整備工事や蘭越送水管更新工事と同時に施工することも考えられるので、より効率性の高い、設計・施工の一括発注などを含めた工事手法を検討していく。

その他の質問

- ・ バス路線確保対策補助事業費
- ・ 塵芥収集運搬業務経費
- ・ 建設改良費



公明党議員団
平川 美由紀
委員

障害者福祉サービス利用券
助成事業費

問 障がい者割引や減免はさまざまあるが、利用するたびに住所や障がい名など、個人情報を見られることから、手帳を出すときに心理的な負担がある。デジタル障害者手帳アプリ「ミライロID」は、スマホに障害者手帳の情報を登録すると、紙の手帳を持ち歩かなくてもよく、移動や外出時に嫌な思いをせずにサービスを受けられる。導入について見解を伺う。

答 保健福祉部長 デジタル障害者手帳アプリについてであるが、委員から紹介のあった「ミライロID」は、マイナポータルサイトとの連携も可能であるアプリであり、多くの事業者や一部の自治体で導入し、運用されていることを承知している。本アプリを本市の公共施設で導入し、運用することについては、本人確認の簡素化による利便性の向上や心理的負担の軽減が見込まれることから、今後、導入事例等を参考に運用方法を確認するとともに、各施設における導入について、施設管理者と協議していく。

その他の質問

- ・ 男女共同参画推進事業費
- ・ 予防接種推進事業費
- ・ 地元就職・人材確保支援事業費



町内会育成事業費

問 中心市街地に、組織率が30%を切っている町内会が散見される。集合住宅へ置き換わり、役員の高齢化と会員減少で、もはや回復は見込めない。市町連を通じて、一律、並列的に町内会を扱う現在の方法は、完全に実態から乖離している。これらの課題を先送りするのはなく、市も調査等により実態を把握すべきではないか。

答 市民環境部長 町内会は地域住民で組織し、ごみステーションや防犯灯の管理、防災活動等を地域住民の共助で行う自主自立の任意組織であり、市との上下関係はなく、その活動は設置目的に沿って会員の声に基づき自ら決定されるものと認識している。市はこれまで町内会から寄せられる課題を解決すべく、活性化に向けて市町連と連携しながら、さまざまに取り組みを展開してきたところである。町内会の活動状況等については、市町連がアンケート等により把握していることから、市が直接実態調査を行うことは考えていないが、新年度では、町内会等とのワークショップを開催し、加入促進や負担軽減などの課題に対して協議することとしており、その中で、各町内会の現状や課題等に関する実態把握に努める。



国指定史跡整備事業費

問 2024年度から工事が始まると、仮ガイダンス施設はどうなるのか。ポランテア等の方の拠点がないとなると、なかなか活動しにくくなるのではないか。プレハブのリースで現状も運用している中、供用開始までどのように対応する予定なのかを伺う。

答 教育部長 仮設案内所は、令和3年度から設置を開始しており、今年度は4月29日から11月23日まで、令和5年度については4月下旬の設置を予定している。キウス周堤墓群の整備は、今年度はガイダンス施設のほか、園路や駐車場などの基本設計を実施したところであり、令和5年度に実施設計、令和6年度はガイダンス施設と園路の一部などについて工事を実施し、令和7年度の供用開始を予定している。残りの園路や駐車場などは、令和7年度に整備を行う予定である。令和6年度のガイダンス施設の施工中は、現在の駐車場内に引き続き仮設案内所を設置していく。なお、工事工程などの関係により、仮設案内所の規模が変更となる場合も想定されるが、運営に支障がないよう準備を進めていく。

その他の質問
・立地企業振興事業費など



老人クラブ育成事業費 緊急通報システム整備事業費

問 従来の敬老会や敬老祝い品の廃止に替わるものとして、これら二つの経費を充実させたことだが、その経緯を伺う。若者の負担を減らすこと、財政標準化の大切さは理解しているが、2年前の敬老祝い金の大幅削減、今回の敬老祝い品の廃止は、あまりにも急激ではないか。市民の幸福、高齢者を敬うことになっているのか。経済合理性に反しても良いものを残すことが肝要である。市長の見解を伺う。

答 保健福祉部長 本市の高齢者施策を継続していくためには、毎年2億円近い予算が必要となり、今後も増加が見込まれる。また、高齢者の増加により一層、現役世代の負担が増加することになり、アンケートの結果や保健福祉調査研究委員会などの意見を踏まえ、敬老会予算を削減し、必要な施策の充実に取り組んでいくことを方針として予算編成を行った。市長 今回の見直しは財政的な見地やアンケート結果だけからの見直しではない。時代時代に必要な施策を取り込んでいくためにはスクラップ＆ビルドしなければ、新しい事業を取り込めない。今後、高齢者の方々に喜んで、生きがいを感じる施策を新しく考えなければならぬと思っている。



JALマラソンについて

問 昨年、多くの参加者から、「フルマラソンの距離が約1キロ足りなかった」との問い合わせがあった。ランナーファーストの視点での改善を求め。

答 観光スポーツ部長 昨年、3年ぶりに開催された千歳JAL国際マラソンは、新しいコースでの初めての大会であったが、約5000名のエントリーがあり、天候にも恵まれ、多くの皆様の支援により、盛会のうちを終了した。マラソンコースの距離については、千歳JAL国際マラソン実行委員会の事務局である千歳市体育協会に確認したところ、昨年の大会では、一部コースが変更となったことから、大会実施前に事務局と計測業者において、従来どおりに車やメジャーでコース計測を行い、距離が確保できていることを確認したうえで大会を開催したところである。なお、今年の大会に向けては、降雪量も少なく雪融けが早い状況でもあるので、林道コース内においても雪融け後、直ちに、コースの路面状況の確認などを行いながら、距離の計測も実施すると聞いている。

その他の質問
・バス路線確保対策事業費



自民党議員会
飯田 盛好
委員

障がい者計画・障がい福祉
計画策定経費

問 第7期総合計画の基本方針の策定をする際には、障がいをもっている方、並びにその家族は大変苦労されており、障がいを持つている方の両親も高齢者となり、将来に不安を感じている方がいると聞いているので、そのような方々との面談を確実にを行い、障がい者、家族の目線での策定を行うことが重要と思うが、所見を伺う。

答 保健福祉部長 千歳市障がい者計画、千歳市障がい福祉計画、千歳市障がい児福祉計画は、一体的に策定し、千歳市第7期総合計画の障がい福祉分野に関する個別計画として位置付けている。次期計画は令和6年度から令和8年度の3力年を計画期間とし、令和5年度に策定する。次期計画の策定にあたっては、障がいのある方やその家族、関係団体の考えや意見を聞くことが重要と考えていることから、障がいのある方に対するアンケートの実施や、障がい当事者団体との面談による意見交換、千歳市障がい者地域自立支援協議会や千歳市保健福祉調査研究委員会での協議、パブリックコメントなど、さまざまな場面で意見を聞きながら策定していく。



自民党議員会
五十嵐桂一
委員

ふるさと納税について

問 ①約50億円の歳入を見込むふるさと納税においてスケールメリットが生じず手数料が増加しているのはなぜか。②経費圧縮にも取り組むことが必要と思うがいかがか。③旅先納税を昨年9月から導入しているが空港や市内の飲食店など今まで恩恵を受けていなかった企業にはビッグチャンス到来と思われるがいかがか。

答 企画部長 ①平成30年から、申込のポータルサイトを2サイトから8サイトへ拡充したことによる決済手数料の増加のほか、決済手段の多様化により、クレジットカード以外の電子決済いわゆる「マルチペイメント決済」が導入され、決済に要する手数料が、一般的にクレジットカードよりも割高に設定されているためである。②決済手数料は、各社が、全国一律で設定している。事務経費の削減も重要だが、ポータルサイトを数多く活用し、千歳市を知ってもらう、寄附へのきっかけになることも大事だと考える。③これまでPRすることが難しかった飲食店などの店舗等も参入しやすいなどのメリットがあると考え、導入に至っている。本市のまちの魅力を知ってもらう、訪問していただくきっかけづくりにもつながると考えている。



自民党議員会
大山 益巳
委員

国指定史跡整備事業費について

問 ①令和5年度の整備事業費の内容について伺う。②キウス周堤墓群の整備概要について伺う。③キウス周堤墓群における樹木の伐採計画については、地域住民や関係諸団体との合意を得て、事業を進めていく必要があると考えるが、市の考えを伺う。

答 教育部長 ①ガイダンス施設や園路、駐車場などの実施設計委託費用や発掘調査報告書の作成費用、来訪者への被害や遺構を破壊する恐れのある樹木の危険木除去費用、史跡キウス周堤墓群整備委員会の運営費用などとなる。②見学するための園路には、再生木材を使用した木道や脱色アスファルトを使用した舗道を整備するほか、5か所の見字デッキを設置する。ガイダンス施設には、キウス周堤墓群のジオラマ模型や石棒を展示し、解説板や映像モニターなどを設置する予定である。③台風による倒木により、遺構が破損する被害が発生したことなどを踏まえ、樹木の伐採については史跡景観に配慮し、必要最小限にする必要があると考えている。地域の方々や関係団体に対しては、遺構を保護し、次代に継承していくための必要最小限の伐採であることを説明してきたところであり、引き続き適宜情報提供していく。



自民党議員会
岩満 順郎
委員

子育て特典カード事業費

問 子育て特典カード事業費は、15万4千円と低予算であるものの、子育て世代に対してはありがたい事業であると確認したが、いくつか伺う。①事業の目的について伺う。②特典カードの発行数について伺う。③LINEで検索する際、協力企業の一覧表を軽易に見ることができ、その一覧表をクリックすると企業の場所や特典内容が具体的にわかるシステムの改善や、携帯のアプリでかざしてカードを提示できるように改善ができればさらに利用しやすいと考えるが、所見を伺う。

答 こども福祉部長 ①子育て世帯の、子育てに対する負担感の軽減とともに、地域全体で子育てを支援する機運の醸成を図るために実施している。②今現在で1798枚となっている。③市公式LINEは、市内の地図上に、協賛店とその特典内容を表示している。これに加え、協賛店の一覧表も掲載することは、利用者の利便性向上など、本事業の推進に有効なことから、今後、一覧表を掲載していく。なお、令和2年10月から、スマートフォンで子育て特典カードを表示できるようにしている。

予算特別委員会

- 千歳駅前広場再整備事業費
- ペットボトル売払収入

その他の質問

「一括運用」についても、現在、研究を進めているところであり、今後、事務的な課題の整理を含め、よく検討していく。

資金の運用と調達について



自民党議員会
渡部謙太郎
委員

問 現在、市が行っている基金の債券運用は、基金ごとで運用をする「個別運用方式」を採用しているが、債券の購入金額や運用期間などの条件が合わないことで、結果、機会損失のリスクもあると考える。より効率的な基金の運用を図るべく、他自治体でも採用されている「一括運用方式」の導入を検討してみてもどうか。

答 総務部長 「一括運用」の手法の検討であるが、基金の「一括運用」は、不測の基金取崩しや歳計現金不足時における繰替運用に対して、柔軟な対応が可能となることから、債券の運用効率を高める効果が見込まれるものとなっている。本市は、令和元年度から債券運用を行っており、これまで安定的に資金運用が図られているものと認識しているが、基金の「一括運用」についても、現在、研究を進めているところであり、今後、事務的な課題の整理を含め、よく検討していく。

第1回定例会 主な議決結果概要・議案の賛否

「○」=賛成 「×」=反対 議席番号「1」山崎昌則 議員は、議長のため、賛否は「-」としています。

※ 議案第8号千歳市土地取得事業特別会計予算については「○」

件名・議案賛否・議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	付託した委員会	議決結果
	山崎昌則	渡部謙太郎	北原俊男	岩瀧順郎	丸岡伸幸	吉谷徹	落野章一	飯田盛好	大山益巳	山口康弘	松倉美加	北山敬太	松隈早織	相沢昂子	欠員	五十嵐桂一	佐々木雅宏	古川昌俊	坂野智	今野正恵	平川美由紀	仲山正人	宮原伸哉		
議案第1号～議案第5号 ・一般会計【第7回】 ・特別会計【公設地方卸売市場事業（第2回）、霊園事業（第1回）、介護保険（第2回）】 ・企業会計【病院事業（第1回）】 以上、令和4年度補正予算について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特別	原案可決
議案第6号～議案第15号 ・一般会計 ・特別会計【国民健康保険、土地取得事業、公設地方卸売市場事業、霊園事業、介護保険、後期高齢者医療】 ・企業会計【水道事業、下水道事業、病院事業】 以上、令和5年度千歳市会計予算について	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別	原案可決
議案第16号 千歳市基金条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特別	原案可決
議案第17号 千歳市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別	原案可決
議案第18号～議案第21号 ・千歳市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定について ・千歳市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について ・千歳市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について ・千歳市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	厚生環境	原案可決
議案第22号 千歳市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第23号 損害賠償請求事件の和解について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特別	原案可決
議案第24号 千歳市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別	原案可決
議案第25号 令和5年度千歳市一般会計補正予算について(第1回)	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第26号～議案第28号 ・市道路線の変更について ・教育委員会委員の選任につき同意を求めることについて ・千歳市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	・原案可決 ・同意 ・原案可決
陳情第4号 庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	-	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	採択
陳情第5号 千歳市教育委員会及び千歳市の小中学校内外におけるマスク着用等感染症対策及び感染症対策における人権問題やいじめ等に関する陳情書	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	不採択
意見案第1号～意見案第2号 ・地域のグリーントランスフォーメーション(GX)の促進を求める意見書 ・知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決

千歳市立北進中学校 市議会議員との交流学習会

令和5年2月16日(木)に、千歳市立北進中学校の生徒の皆さんと交流学習会を開催しました。

当日は、議長室や委員会室を見学した後、議場で模擬議会を行いました。生徒が議長や議員役となって質問を行い、議員が市長や部長役となり、次のようなやり取りが行われるなど、交流を深めました。

【模擬議会での主な質問】

- Q カレーや麺類の時、デザートやミルクだけのことが多く、野菜などのおかずを、もう一品つけてほしい。
A カレーや麺類の日については、もう一品ないとお腹が空いて困ってしまうとの意見が他の方からもあることから、至急対応できるように検討を進めているので、もう少しだけ待ってほしい。
- Q プラスチックごみの袋は、中身の見える袋ならいいという市町村が多いのに、千歳市が有料ごみ袋にしているのはなぜか？
A 家庭ごみを有料化する際、ごみを減らし効率よく処理するため、市民の代表が集まって話し合った結果、プラスチックごみの袋については、リサイクルを進めるため「燃やせるごみ」等の袋の半分のお金が良いということで1リットル当たり1円とした。なお、市町村によって考え方が異なるため、リサイクルしていない市町村もある。
- Q 外国人向けに英語で表記したりすると、外国の方にもわかりやすい街になると思うが、外国人観光客のための表示は、どのくらいあるのか？
A 具体的な表示の件数は把握していないが、外国人観光客の方がわかりやすいように、商店街にどのような店舗があるかをお知らせする、さまざまな言語に対応した「デジタルサイネージ」を市内2か所に設置しているほか、外国語版のパンフレットも発行するなどの取り組みを行っている。



議会事務局からのお知らせ

★議会の予定

令和5年第2回定例会は、6月15日(木)に開会する予定です。

正式な日程は、議会運営委員会の決定をホームページやポスターでお知らせします。

★ホームページのご案内

会議の出席状況や、議会だよりで掲載している以外の質問などもご覧になることができます。

ぜひアクセスしてください。

★表紙を募集しています！

市議会だより(年4回:2・5・9・12月発行)の表紙を飾る写真や絵、イラスト等を募集しています。千歳の四季や季節の行事をイメージできるものがありましたら、ご応募をお待ちしております。

(問い合わせ)

千歳市議会事務局 総務課 調査係
TEL 0123-24-0791 (直通)
E-mail: gikaisomu@city.chitose.lg.jp

★点字・音声版市議会だより

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容を点字・録音したものを作成しています。

希望される方は、点字図書室までお問い合わせください。



(問い合わせ)

千歳市総合福祉センター2階
点字図書室 TEL 0123-27-3921

編集後記

2年間、いかに多くの市民の皆さんに手に取っていただき、そして読んでいただけるかを念頭に委員会を進めてきました。質問者の顔写真をライブ感が出るように、質問時の写真を掲載し、顔写真にQRコードを付して議会議中継と連動することにより、DX化の促進と利便性の向上を図りました。また、発行時期や意味合いを考慮して表紙を選定したほか、記載文字も誰もが読みやすいユニバーサルデザインを取り入れるなど、多くの改良を重ね、読みやすく機能的な「議会だより」になりました。

一緒に取り組んだ委員会メンバーおよび事務局に心より感謝いたします。今後市民に愛される「議会だより」となることを期待いたします。

ありがとうございました。
(編集委員長 山口 康弘)

議会報編集委員会

委員長 山口 康弘
副委員長 仲山 正人
委員 北原 偉男
相沢 晶子
吉谷 徹

市議会だよりは、植物油インキを使用しています。